「総合的な学習の時間」の総点検

ここでは、「総合的な学習の時間」に学びを総点検する際の、新学習指導要領における新しい視点を紹介します。

○目標を踏まえた「目標や内容」を設定する

新学習指導要領においては、「総合的な学習の時間」の「目標」が新たに示され、ここでは、横断的な学習だけでなく探究的な学習を展開すること、また、協同的に取り組む態度を育てることが新たに加えられています。各学校においてはこの「目標」を踏まえて、各自の「目標や内容」を学年ごとに定めます。

○育てようとする資質や能力及び態度を明確にする

これまでの実践でも「育てたい力」など名称で、何を育ててくるかを明確にしてきました。「育てようとする資質や能力及び態度の内容」と「目標や内容」との関連性を明確にしておくことが大切です。新学習指導要領においては、「資質や能力及び態度」に含める視点として、学習方法、自分自身、他者や社会とのかかわりの三つの視点に関することが新たに示されております。

○教科書の内で学びの時間を明確にする

これまでの学習においては、「総合的な学習の時間」に学びを総点検する際の、新学習指導要領における新しい視点を紹介します。

○学習の時間における新しい視点を紹介します。

ここでは、「総合的な学習の時間」の実践を総点検する際の、新学習指導要領における新しい視点を紹介します。

○目標を踏まえた「目標や内容」を設定する

新学習指導要領では、「総合的な学習の時間」の「目標」が新たに示されました。ここでは、横断的な学習だけでなく探究的な学習を展開すること、協同的に取り組む態度を育てることが新たに加えられています。各学校ではこの「目標」を踏まえて、各自の「目標や内容」を学年ごとに定めます。

○育てようとする資質や能力及び態度を明確にする

これまでの実践でも「育てたい力」など名称で、何を育ててくるかを明確にしてきました。「育てようとする資質や能力及び態度の内容」と「目標や内容」との関連性を明確にしておくことが大切です。新学習指導要領においては、「資質や能力及び態度」に含める視点として、学習方法、自分自身、他者や社会とのかかわりの三つの視点に関することが新たに示されております。

○教科書の内で学びの時間を明確にする

これまでの学習においては、「総合的な学習の時間」に学びを総点検する際の、新学習指導要領における新しい視点を紹介します。

○目標を踏まえた「目標や内容」を設定する

新学習指導要領では、「総合的な学習の時間」の「目標」が新たに示されました。ここでは、横断的な学習だけでなく探究的な学習を展開すること、協同的に取り組む態度を育てることが新たに加えられています。各学校ではこの「目標」を踏まえて、各自の「目標や内容」を学年ごとに定めます。
教科のまとめ 理科の予備実験

理科の授業では、生物、物理、化学などに関する観察や実験が取り入れられています。観察や実験は子どもたちが楽しみにしている活動です。自然事象に興味をもたせ、理科の好きな子どもも育てるために大切なことです。

観察や実験には、そのための準備に時間がかかります。化学薬品や実験器具、アルコールランプなどを使用するときには危険が伴います。現象が変化したり条件が異なったりすると、教師が期待していた結果にならないこともあります。

理科の授業の成果を高め、何よりも実験を安全に行うためには、事前に予備実験を行い、実験の方法や結果、器具の使い方、留意事項などをあらかじめ確認しておくことが大切です。クラブ活動でより高度な実験を行うときには、必ず予備実験を行います。安全上の配慮が欠かせません。できれば複数の教師が指導することを望みましょう。

いずれの場合にも、事前に指導計画を作成し、校長など管理職に報告しておくようにしましょう。

授業のスキル・アップ 発言できない子どもへの指導

授業中に、子どもたちに発言を促すことがありますが。これによって子どもたちは友だちから学ぶことができ、教師は子ども一人一人の参加意欲や学習状況を把握することができます。

学級には、どうしても発言しない子どもがいます。そうした子どもには無理に発言させようとせず、まず発言しないのか、発言できないのかを確認します。発言する内容をもっていないか、発言の仕方がわからないなどいろいろな原因が考えられるからです。

発言しない子どもの中には、他の子どもが優れた考えをもっていることもあります。その子どもを授業の中で生かすことによって授業の質をさらに高めることができます。

教育キーワード 学校耐震化対策

子どもたちは一日の大半を学校の校舎で過ごします。災害時においては、学校が地域住民の応急避難場としての役割を果たします。学校は安全な場所でなければなりません。

わが国においては、いつどこで大きな地震が起こるかわかりません。現在、各自治体では、学校の耐震化工事を進めています。安全な校舎に立て替えることが（改築）が望ましいのですが、経費的な理由などから耐震補強・改修という方法が取られています。

工事は多くの場合、子どもの学習を考慮して夏休みなどの長期休暇前に実施されています。予算の措置が十分でないこともながら年次計画で進行していきます。そのため、すべての学校で耐震化対策が完了している状況ではありません。現在も進行中です。一日も早い耐震化対策の完了が待たれます。

学級通信に使える今月のイラスト

卒業証書 桃の花

Information (PR)

すぐに使える 小学校 新指導要領 記入文例集

通知表の作成にも使えます！

編集後記

3月になりました。新学習指導要領の全面实施まであと1か月。次号では「学習指導要領の全面実施一実践上の課題の再確認」を掲載し、4ページにわたりたて特集いたします。いつもより少し早目の今月20日前後にお届けできる予定です。ご期待ください。

企画・編集 ぶんすい教育研究所
発行：株式会社文渉堂 発行日：2011年3月1日